



# カフェ・オレンジ通信

アシスト21・ひまわりセンター  
認知症支援・介護予防センター

〒802-8560 小倉北区馬場一丁目7番1号  
総合保健福祉センター（アシスト21）5F  
TEL.093-522-8765 FAX093-522-8773

第3号

平成28年6月15日

発行：認知症・車の根  
ネットワーク

## 5月のカフェ・オレンジ1,521名、センター全体では2,218名来場されました

### カフェを拠点に夢を広げる！

入り口正面奥の「あなたの夢を実現するボード」が動き出しました。作品展小や「MCIBAND」・「高次脳機能障害の仲間たちの会」のメンバー募集などがあります。「MCIBAND」は、秋口にお披露目の演奏が出来るといいねと意気込んでいます。どうぞ、お楽しみに！  
毎回、様々な動物を題材にしたリアルな立体折り紙を作っては飾ってくださる方、そして何よりも、カフェ・マスターの皆さんがカフェ・オレンジで生き生きと活動しておいでです。  
これからもよろしくお願ひします。

### 個人の方の来場を大切に・・・

5月のカフェ・オレンジは1,521名、センター全体では2,218名の方にお越し頂きました。認知症に関心をお持ちの地域の皆さん、グループの皆さんに支えられての数字です。本当にありがとうございます。

一方で、介護の「入り口の入り口」を探して、カフェ・オレンジに来られる個人の方もおいでです。黙ってお茶を飲まれている方。リラククスされる方もいらっしゃいます。私たちは専門家ではありませんから、お話しに相槌を打つことしか出来ませんが、話される中で「介護家族としての毎日が始まったことへの自覚」、「適切なサービスを受ける必要性の認識」、「介護度」にぴったりの施設とお付き合いを始める決心」等をご自分の中で整理されていくようです。その後、各区の地域包括支援センターに行かれると相談の内容もより明確になっていくのかもしれない。

グループで来場の皆さんに元気を頂きながら、個人で来場の皆さんにもしつかり向き合おう・・・。介護の「入り口の入り口」としての私たちの歩みは、まだ始まったばかりです。



カニやキリン、象、うさぎ・・・次々に新作誕生！いつも楽しみにしています。



若松区リハビリテーション連絡協議会の勉強会。お仕事終了後の開催。熱心に！



あなたの夢を実現するボード！夢広げ！皆さんの夢をどうぞ書きに来てください！

## 認知症支援・介護予防センターの愛称は「アシスト21・ひまわりセンター」に決定しました！

- ★3つの意味を込めました。
- 1つ目は、ひまわりのように明るく前向きに気軽に参加の取り組みができるように。
  - 2つ目は、認知症や介護予防に関する情報収集や心の支えの場となるセンターなので明るく暖かなイメージに。
  - 3つ目は、北九州の花でもある「ひまわり」なので、皆さんも親しみやすい。

覚えてくださいネ！

### 093-522-8740 カフェ・オレンジの電話番号です！



はい！  
カフェ・オレンジです。

電話受付時間 10時から17時まで  
※ カフェ・マスターの皆さん  
シフトの変更希望等は、この電話にご連絡ください。

### 093-522-8740

### (522-「ハナシニオイテ」と覚えてください！)

5月22日(日)市内で10例目の模擬訓練が、八幡西区茶屋の原で行われました。



晴天に恵まれた5月22日(日)午後、市内10例目の模擬訓練が、八幡西区茶屋の原で行われました。求心力のある意欲溢れる役員さんと小規模多機能「出会い茶屋の原」さんが協力して運営し、およそ80名の方々が参加されました。

町内ごとに分かれてグループで捜索を行い、開始から11分、18分でお二人の不明者役を発見しました。もともと茶屋の原地区は、地域での捜索活動の実績があり、各地域で模擬訓練が始まる前の平成24年度の「認知症・北九州大会」で事例発表をして頂いています。改めて模擬訓練を学ぶというお申し出を嬉しく伺い、当日の訓練に参加して温かい気持ちになりました。皆さんお疲れ様でした。ありがとうございました。



健康運動指導士の宇野さん・坂田さんと地域活動コーディネーターの中村で各地域におじゃますることが多くなりました。各種講座・講演のご要望は、どうぞお気軽にご相談下さい。

**カフェ・マスター研修会(2期)**

6/11から始まって医療・薬・カフェの理念・歯科・栄養・運動について学んでいます。今回は企業からのデモンストレーションがあったり、市立看護学校茶道部の学生さんがお抹茶を立てて下さったり・・・と広がりのある講座になっています。多くの人が出会う場所に!との思いが詰まっています。 **多世代交流で学ぶ 第3期!**

**カフェ・マスター研修会(3期・全4回)**

~学生さん、ご都合のつく回にご参加下さい~  
7/23(土)から3期の研修が始まります。一般の方はもちろん、事業所の方、学生さん、活動中のマスターさん、一緒に学びましょう!



**カフェ・マスターの皆さんへ**



毎月末は、カフェに来て頂くことになっています。

**25日 14:00~16:00**

マスターミーティング(その月にマスターを経験された方たち+他に希望される方の検討会)

**27日~次の月の2日まで来場して確認ください**

- ① マスターミーティング報告書  
(皆さんの意見やしくみの変更点を記載)
- ② カフェ・オレンジ通信
- ③ 翌々月のシフト表記入用紙  
(マスターさんの人数が多いので、この時記入された方を基本とします。)
- ※この期間(27日~翌月2日)に翌月の石田環さんの担当日を示しますので、担当日に直通電話522-8740(522-ハナシニオイデ)に連絡してください。「マスターの〇〇です。〇月〇日のシフトについて変更をお願いします」
- ④ 翌月の企画・研修・その他のお知らせ
- ⑤ 記入表に「見ました」と名前を書いて下さい。
- ⑥ その他のパンフレット等

主催：認知症支援・介護予防センター

**認知症カフェ講演会**

日時：7月10日(日)  
14時~16時

場所：カフェ・オレンジ

内容：

第1部 基調講演

(14時~15時20分)

「当組織のプロボノ活動について」

小倉リハビリテーション病院

名誉院長 浜村 明徳氏

第2部 対談

(15時30分から16時)

「プロボノと認知症カフェ」

浜村 明徳氏

認知症・草の根N 田代久枝氏

※7/4迄申し込み受付中

(専用申込書にてFAX送付)

**閑話休題**

「迷惑をかけてもお互い様だから」という感覚に早い段階から馴染んでおくことの大切さを感じる。「他人のお世話は進んでする。でも誰かにお世話になっている自分は想像できないし、お世話になるくらいなら消えてしまいたい」というのが、多くの善良な人の共通の姿だ。介護の手が入って間もない義母は、「忙しいのにお世話になって、迷惑をかけて・・・と涙をこぼす。そして「私は大丈夫。もう気にしてくれなくていいから。」と続ける。でも日々の生活は決して「美学」ではなく「現実」だ。アノ現状でほっておける訳がない。介護に永年携わる友人は、そういう話の流れになったとき空かさず「みんながいずれ通る道だから」と笑顔でゆっくりと諭す。そのとおりだ。ボランティアや社会貢献活動中の、どちらかと言うと「お世話になる立場」の皆さん、今のうちに「お世話になること」も自分に認めませんか? 「してあげる」「してもらおう」の垣根を越えて、「みんなだ」「一緒に」を合言葉にすれば、きつともっと暮らしよくなるはず! 如何でしょう? (ま)